

# ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責/園長 石川照代）



## 園長だより「ジャックと豆の木」創刊！

「ねえ、見て見て！ここにきれいなお花が咲いてるよ！」

つい先日、降園の頃に園長室に聞こえてきた声です。さて、これは誰の言葉でしょうか？子どもが、お母さんの手を引っ張りながら甘えたように言っている様子が浮かぶでしょう。ところが、違うのです。お母さんが子どもを呼んでいるのです。このお母さんは、きっと美しい花と一緒に見て、子どもと感動を共有したかったのでしょう。私は、園長室の中にいて、ひとりほほえんでしまいました。このお母さんの中に流れている豊かな感性と穏やかな時間を、私はかけがえの無いものに思いました。そして、このような言葉を語りかけられながら育っていく子どもの未来の姿を、眩しく想像しました。

子育ての環境は、家庭によって違います。決して比べる必要はありません。しかし、子どもと向き合う時の心の持ちようは、親仲間や諸先輩に学び、これからいくらでも取り入れることができます。このたび、園長便りを発行することにいたしました。子どもに関わって下さっている全ての方々へ向けて、子どもたちの今と未来を、共に考えるための旬の話題や、幼稚園の取組をより良く知っていただくための様々な情報を、園長としての思いを込めてお伝えしたいと考えています。

タイトルは、附属幼稚園のシンボル「ジャックと豆の木」の時計台から頂きました。自らの意思で上へ上へと力強く登っていくジャックの姿は、目指す子どもの姿と重なります。どうぞ宜しくご愛読くださいますようお願い申し上げます。（ご意見ご感想もお待ちしています） 園長 石川



協力者の皆様、職員一同、どうぞ、ご支援、ご協力をお願い致します。

四月十三日（金曜日）、三十二名と、四歳児さん二十名が入園式を行いました。幼稚園の小さなホールには、大学の学部長さんをはじめ来賓の方々のご臨席も賜り、在園児さんと保護者の皆さんで満員御礼。園長先生のお話のあとは、先輩である園長先生のお迎えのことば、先輩である園長先生との歌のプレゼント。大きな声で、一年後、二年



新しいお友だちがふえました！

### 附幼のシンボルに寄せて

附属幼稚園の門を入ると真正面に見える巨大なオブジェ。近づいて見ると、豆や蔓が飛び出し、小さな男の子のフィギュアが一つくっついています。てっぺんは雲とお城？それが「ジャックと豆の木」のお話をモチーフにしたものだとわかるのに、さほど時間はかかりません。

しかし、なぜ、「ジャックと豆の木」なのでしょう？

これが制作された「附幼60年史」を紐解いてみました。すると、冒険物語になぞらえて、子どもたちの今を励まし、夢をはぐくむ「希望のシンボル」として製作されたことがわかりました。

平成3年11月に動き出した時計は、今も毎日、あたたかな鐘の音とメロディーを奏でています。

この音色を懐かしく、そして大切に思われている方々の存在を感じ、改めて身の引き締まる思いがしたのでした。